

防災・消防

宗谷管内は、春は融雪による河川の氾濫、夏から秋にかけては局地的な大雨による土砂災害、冬は暴風雪による雪害など、1年を通じて様々な災害が起こりうる地域であり、さらに、北海道北西沖とサロベツ断層帯北延長の地震が発生した場合は最大で震度7となる可能性もあることから、災害に対する十分な備えが必要とされます。

■防災

過去の主な自然災害

(令和6年2月1日時点)

時期	原因	特記事項(被害等)
H26.8.24~9.5	礼文町土砂災害	人的被害(死者) 2名 等
H28.9.6~9.10	宗谷北部記録的大雨	床上・下浸水 51件 避難者数(最大) 463人 等
H30.9.6~9.14	北海道胆振東部地震	大規模停電 約46,000戸 等
R1.12.12	宗谷北部地震	最大震度5弱
R2.8.6~8.11	低気圧(大雨等)	道路被害 45件 避難者数(最大) 389人 等
R4.1.11~1.14	低気圧(暴風雪等)	建物施設被害 27件 停電 約3,400戸 等
R4.6.20	宗谷北部地震	最大震度4
R4.8.4	宗谷北部地震	最大震度4
R4.12.22~12.24	低気圧(暴風雪等)	建物施設被害 20件 停電 約3,400戸 等

非常配備体制について

宗谷管内に気象警報が発表される等、災害が発生するおそれがある場合には、非常配備体制を構築します。

災害の規模、その他の状況に応じ、災害対策地方連絡本部や災害対策地方本部を設置する等、配備体制を強化していきます。

配備体制構築段階

第1非常配備体制A

気象警報、震度4の地震発生等

第1非常配備体制B

津波注意報、土砂災害警戒情報発表等

第2非常配備体制→災害対策宗谷地方連絡本部

津波警報、震度5弱・5強の地震発生等

第3非常配備体制→災害対策宗谷地方本部

宗谷総合振興局管内雪害対策連絡会議

大雪、暴風雪及びなだれ等の災害が発生、又は発生するおそれがある場合に、管内の防災関係機関や市町村、公共交通機関等との情報共有を図ることを目的として、管内雪害対策連絡会議を設置しています。



会議の様子(令和5年度)

北海道災害対策宗谷地方本部指揮室運営等図上訓練

災害に係る応急対策を推進するために特別の必要があると認められる際には、北海道災害対策宗谷地方本部指揮室が設置されます。年度始めの新体制となる時期に、職員の災害対応業務における早急な習熟を図るため訓練を行っています。



訓練の様子(令和5年度)

■消防

管内の消防体制

(令和5年4月1日時点)

消防本部(署・支署)名	吏員	団員
稚内地区消防事務組合	95	453
消防本部	8	-
稚内消防署	51	249
豊富支署	19	78
猿払支署	17	126
利尻礼文消防事務組合	51	342
消防本部	6	-
利尻消防署	15	109
利尻富士支署	18	100
礼文支署	12	133
南宗谷消防組合	69	320
消防本部	6	-
枝幸消防署	35	192
浜頓別消防署	14	80
中頓別消防署	14	48

管内の消防体制は、3消防本部と9消防署(支署)で組織され、消防活動はもとより火災予防活動、救急救助活動、各種訓練等を精力的に行うことにより、住民の生命と財産を守っています。

※幌延町の消防署は、北留萌消防組合に属し留萌振興局所管となるため、火災発生件数及び被害額の計上外としています。

火災件数・損害額の推移

